学校番号	１０３

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」光村図書						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語科「書写」と芸術科「書道」の違いを認識したうえで、書道の基礎的な用筆法・運筆法を習得すること。
・古典臨書、漢字仮名交じり文の創作などの幅広い活動を通して、個々の書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくこと。
・授業だけでなく【鑑賞】の時間をとるために、年間３回以上の【鑑賞レポート】を提出すること。書道に限らず幅広いジャンル（絵画・写真・彫刻・陶芸など）を鑑賞し、展示方法や空間利用など展覧会における芸術科書道についても考察すること。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	創作の様子 書道ノート 鑑賞活動やグループワークの様子 自己評価・相互評価 鑑賞レポート	書道ノート ワークシート 鑑賞・批評会での発言内容 自己評価、相互評価	創作途中の作品 ワークシート 鑑賞・批評会での発言内容 自己評価・相互評価	鑑賞活動やグループワークの様子 鑑賞･批評会での発言内容 自己評価・相互評価 鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	仮名の書	「書写」から芸術科「書道」へ ・五書体(篆・隷・楷・行・草)での氏名 ・「いろは歌」の字源 ・仮名の単体・連綿(筆ペン・小筆) ・『高野切第1種』の臨書 ・『高野切第1種』での集字 ・『高野切第1種』での創作 ・和歌1首の暗唱テスト ・「いろは歌」字源小テスト	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:連綿や変体仮名など、表現技法の基礎・基本を身に付け、仮名の書の書写能力の向上に努めている。 b:平仮名の単体など日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け表している。 d:平仮名の単体など仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取っている。	授業観察 書道ノート 書道ノート 臨書作品 集字プリント 創作作品 暗唱テスト 小テスト
夏休み		鑑賞レポートの提出①	○			○	a:創造的な表現をするために、表現者または友人の作品を鑑賞し、その美やよさについて意見をまとめる。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。	鑑賞レポート
2		文化祭　書道選択者作品展 (鑑賞レポートの提出②)	○			○		鑑賞レポート
2	漢字の書	・楷書の学習 古典『孔子廟堂碑』臨書 古典『九成宮禮泉銘』臨書 古典『雁塔聖教序』臨書 古典『顔氏家廟碑』臨書 ・創作グループワーク ・作品鑑賞・批評会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。 b:自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。 c:楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:日本及び中国の楷書の伝統と文化について幅広く理解している。	授業観察 書道ノート 臨書作品 ワークシート 書道ノート

3	漢字の書	・行書の学習 古典『風信帖』臨書 古典『蘭亭序』臨書 ・王羲之と空海との関係 ・40人合作『蘭亭序』 ・作品鑑賞・批評会 ・ノート課題『蘭亭序』 ノート課題「王羲之」	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 日本及び中国の行書の伝統と文化について関心をもち、意欲的、主体的に楷書の美を味わおうとしている。 b: 古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 c: 行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d: 行書の伝統と文化について幅広く理解している。	授業観察 臨書作品 ワークシート 書道ノート
	漢字仮名交じりの書	・伝達から表現へ ・イメージを文字で表現する ・自分だけの表現 ・書体・書風を考える ・紙面構成を考える ・用具・用材を考える ・創作グループワーク ・作品鑑賞・批評会	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a: 漢字と仮名の調和と線質との関係について関心をもち、表現を高めようとしている。 b: 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。 c: 用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じて用材を選択している。 d: 漢字と仮名の線質の調和による美を感じ取っている。	授業観察 書道ノート 創作作品 ワークシート 書道ノート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。